

暮らしに安心をお届けする...

～ビッグ・ワン ニュース～



2026年 冬の部 第67号



新年あけましておめでとうございます!

拝啓 初春の候、皆様におかれましてはますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
弊社業務につきましては、平素より格別のお引き立てを賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。

弊社は昨年創業 55 年を迎えることができました。ここまで長い間保険の仕事が続けることができたのも、支えて下さったお客様のお陰と心より感謝致しております。いつも本当にありがとうございます。

長く関わり続けている保険業界ですが、近年その業態や法規制等が大きく変化してきています。その変化は多岐に渡りますのでここで全てを記載することはできませんが、保険会社や保険代理店はその変化に合わせ、自らも大きく変わらなければ存続できないという非常に厳しい状況となっています。

多くの保険代理店は大型代理店の傘下に入るか、他代理店と合併することによって規模を拡大し、事業継続を試みているのですが、弊社は創業からの理念を踏襲し、自社の独自性や強みを活かした上で、他社に真似できないような独自サービスを構築することを選択しました。新しいことを行う訳ですから多くの反対もありましたし、協力を得られないこともありましたが、信じてついてきてくれた社員の皆さんには心から感謝しています。

2021 年 4 月に社内改革を宣言し、間もなく 5 年が経とうとしています。多くの失敗も経験しましたが、昨年 1 年間でようやくやろうとしていたことが形になってきました。まだまだ完璧な形ではありませんが、2026 年は新しいビッグ・ワンのサービスを皆さんにお見せすることができると思います。どんなことをやっていくのかは、今後それぞれのサービス開始ごとに「公式ホームページ」や「公式 LINE」「公式 YouTube」等で発信していきますので、どうぞ楽しみにしててください。

ビッグ・ワンの「ワン」は「オンリーワン」の「ワン」です。自社にしかできない様々な「オンリーワン」のサービスを確立し、関わっている人全てが幸せになれるように全力を尽くして参りますので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

2026年 元旦
有限会社 ビッグ・ワン
代表取締役 大木 敬介

経営理念

- 一. お客様や仲間の喜びを、自分自身のやりがいに変え、全ての事に全力で取り組みます。
- 一. オンリーワンのサービスを追求し、地域から求められる企業、必要とされる企業になります。
- 一. 関わった人全てが幸せになれるように、感謝の言葉で溢れる職場を創ります。
- 一. 社員全員が自主性を持ち、日々の成長を実感する為に、チーム一丸となって常に挑戦し続けます。

石丸文行堂

創業明治十六年、百四十年以上もの間、長崎の発展と共に成長し続ける石丸文行堂様。
今回は、社長 石丸忠直氏に、普段見えない石丸文行堂様の取り組みや展望を教えてくださいました。

長崎の魅力を 長崎の人に 知ってもらおう

「文房具屋」という枠を超えて

2023年、創業140周年時に経営理念を刷新しパーパスを制定しました。

「石丸文行堂は文房具屋」という固定観念をやめようと宣言し、まず取り組んだのが酒類販売免許の取得でした。長崎には多様な魅力的なお酒が次々に誕生していますが、まちなかには積極的な酒屋さんがいないため、感度が高い都会へ流れている現状があります。

長崎を盛り上げようと努力している作り手がいる。その存在や思いを伝えることが、私たちの役割ではないか。県内の離島や半島の作り手が生み出した酒や食品を、私たち売り手が間に入ることで、地元の使い手へ紹介し魅力を味わっていただく。その橋渡しを、自社の商品や取り組みを通じて少しでも実現できればと考え販売免許を取得しました。

みんなで生きていこう

本店1階の「長崎マルシェ Jimo (ジモ)」は、一見すると土産物店のようですが、長崎の人にこそ長崎でつくられたものを使ってほしいという思いから運営しています。長崎には魅力的な生産者や特産品が数多く存在します。まずはその存在や価値を、地元長崎の人に知ってもらうことが目的です。

販売店は、作り手と消費者をつなぐ役割を担っています。売れるから売るのではなく、物語があり、手間と愛情のこもった商品の物語を丁寧に伝えていく努力が必要だと考えています。

正直なところ、この事業は大きな利益を生むものではありません。しかし、ここで生まれたご縁をきっかけに、生産者の方々へアドバイザーとして関わっていきたいと考えています。

長崎中心街の心臓だった旧県庁

2018年の県庁移転から始まった長崎市の「100年に一度の変革期」。西九州新幹線や長崎スタジアムシティの開業、駅前再開発などを通じて、街は大きく変化を遂げています。県外から見ると非常に華やかで、人の往来も活発になったように思われますが、長崎市は訪問者数も宿泊者数もコロナ禍前のピークをまだ超えていないのが現状です。

かつては県庁を中心に約4,000人もの人々が放射線状に行き交い、街全体の心臓ポンプのような役割を果たしていました。その県庁が駅前へ移転し、放置されたままの跡地は長崎市の中心繁華街と駅周辺エリアを小高い丘が分断する形となり、商店街・繁華街の衰退に影を落としています。現在は、まちなかの中心にぽっかりと穴が空いてしまったような状況です。

県庁跡地の活用については、県内外の人々が行き交い賑わいを生むよう、世論を喚起しながら、行政を動かすことが重要だと考えています。

魅力あふれる長崎

長崎市は人口減少の問題が非常に深刻です。意思がある人は外に出て、より可能性のある社会へと自らの活躍の場を移しています。一方で、地元に残る人の中には、十分な情報を得られないまま現状を嘆き、「長崎には何もない」と後ろ向きな言葉を口にする人も少なくありません。しかし私は、「何もないのではなく、知らないだけです」と伝えたいのです。

私は18年間東京で生活し、外から長崎を見てきました。その経験から、長崎が非常に魅力にあふれた街であり、県外からの好感度が高いことを実感しています。反対に、長崎しか知らない人たちはその魅力に気付いていないように感じますので、まずは、この意識の根本を変える機会を作りたいと考えています。

数年前、創業者がこの商店街組織をつくったという史実を知ったことは、ここから逃げるわけにはいかないという覚悟につながりました。地元・長崎の活性化に取り組むことで街を良くし、同時に自分たちの事業も成り立たせていく。地元愛に溢れた人が前向きな空気を生み、その中で子どもたちが育ち、やがてまたこの街を好きになる。そうした好循環の推進に寄与していきたいと感じています。



パッケージの改善や生産性向上の工夫など、流通に乗せるための支援を行い、特に離島の生産者が多い中で、「みんなで生きていく」仕組みづくりに貢献したいと考えています。

長崎の活性化と本業を一体で考える

毎年7月に島メッセで開催している「ごほうびフェスタ」は、「文房具ってやっぱり楽しいね」「面白い」と改めて感じてもらうことを目的としたイベントです。

それに加えて、Jimoの縁でつながった長崎県内の食や雑貨の作り手さんが集まって、来場者も出展者もみんな楽しんで雰囲気の中で開催しています。行政、それに学校もオープンスクールを兼ねて参加しています。

実は、長崎の活性化と自社の本業を一体のものとして捉え、長崎をテーマにした商品の自社開発にも取り組んでいます。私たちは「書く」という行為にまつわる商品を扱っているため、国内外で開催されている“手書き”を愛する人々が集まるイベントに出展し、会社を知ってもらい、同時に長崎の魅力も発信するのです。

手書き文化において、日本は世界でも先頭を走っています。イベントへの出展を通じて接点生まれ、購入者には楽しかった余韻と商品が残り、それがSNSを介して広がり、増幅していきます。翌年のイベントでは大きな集客につながり、それを見た現地の販売店から取り扱いのオファーを受ける。販売店から購入した人が長崎へ観光に来る。そうした循環を目指しています。



代表取締役社長
石丸 忠直 氏



石丸文行堂
ホームページ



世代を超えたつながり

本店5階奥に設けた『ぶんちゃんランド』は、「子どもを安心して連れて行ける場所を浜町につくりたい」という思いから生まれました。子どもが「また行きたい」と言うから浜町へ来た、買い物中に子どもがぐずったので立ち寄った、という声を多くいただいています。

接点は、できるだけ幼い頃につくることが大切です。それは、一生のお付き合いをしたいからです。人口が減っていく小さな社会だからこそ、一人ひとりとどれだけ深い関係を築けるかが重要になります。

ぶんちゃんランドの導線上にはランドセル売場があり、購入時には「ランドセルパスポート」をお渡ししています。小学校6年間、文具代を割引する仕組みです。また、中学生以上の学生には登録制の学割サービスを提供しています。最終的には、その子が親になったとき、またお子さまを連れて来店していただけるサイクルをつくりたいと考えています。

将来的には、アプリ会員向けにAIを活用し、購買履歴からお客様の嗜好を理解した上で商品を提案していきたいと考えています。「ここまで自分のことを理解してくれている」と感じていただける体験を提供できれば理想です。

より良い未来を応援し合える社会へ

「長崎っていいよね」「長崎で将来こんなことをしたい」と、人々が前向きに自分の未来を語り、それを周囲が自然に応援できる社会。それが私たちの理想です。すべての人の活動に対して、私たちが何かを提案することで、その到達点を少しでも高める存在でありたいと考えています。仕事や勉強においても、考え方や提案次第で楽しさが生まれ、結果につながります。そうした前向きな変化を後押しできる存在になることが、私たちのパーパス（存在意義）です。

GOOD LIFESTYLE BY ISHIMARU

石丸文行堂

〒850-0853 長崎県長崎市浜町 8-32
TEL: 095-828-0140

2025 長崎くんち 西古川町



昨年の長崎くんちの踊町・西古川町に営業社員の石原が地方(じかた)・三味線で出演しておりました。仕事も趣味も全力投球の石原が2025年は長崎くんちに出演するというので、これはぜひとも応援せねば!と私大木円香が場所踏みから追っかけました。

夏の暑い中、お稽古は大変でしたが、周りの方々の支えで無事に奉納を終える事ができました。おくんちの成功の為に一丸となって協力し合う御町内の皆様のお姿に感動し、自分も頑張らないとという気持ちになりました。

前日の諏訪神社ではかなり緊張しましたが、3日間楽しく仲間と一緒に過ごせた事は一生の思い出になります。応援、感謝いたします。ありがとうございました。

石原 百合子

いつでも温かく迎えてくださった西古川町の皆様、本当にありがとうございました!



10/8
庭先回り

10/8 中日
八幡神社

10/3
庭見世

9/20
御旅所
雨で中止

9/28
諏訪小学校

9/13
場所踏み
御旅所

9/14
県庁跡地

中日(なかび) :
10月8日に行われる、最も多くの観客が集まる日。7日は前日(まえび)、9日は後日(あとび)。

庭先回り(にわさきまわり) :
各踊町が、くんちの奉納踊の後、市内中心部の事業所や民家、官公庁などを訪れ、玄関先や店先で短い踊りやお囃子を披露して、福を分け与え、お祝いをする趣旨のもの。

場所踏み :
本番に向けて演し物(だしもの)の最終調整を行うための稽古のことで、本番と同じ場所で行われる。

庭見世(にわみせ) :
祭りの数日前から、各踊町が趣向を凝らした装飾を施した庭で、祭りの準備を公開する。

長崎くんち :
10月7日~9日に行われる諏訪神社の秋の大祭。7つの踊町(おどりちょう)が毎年持ち回りで山車や船、龍踊り(じゃおどり)、本踊りなどを奉納。諏訪神社や中央公園、御旅所(元船町)などで各踊町の趣向を凝らした奉納踊りが行われる。

おくんち語録

おくんち動画を
Instagramで公開中!どうぞご覧ください





小吉

勤続 30 周年を迎えました!

印象に残っているエピソードについて

Memorable

小江原小卒業まで長崎在住、中学入学から阪神淡路大震災発生まで10年間を大阪府茨木市で暮らしました。中学から高校部活6年間はハンドボール部に所属して年中まっ黒に日焼けしていました。

平成7年当時の弊社は社長と営業5名と事務5名、同年歳末寿退社の事務枠の採用で9月入社しました。

社会人一年目で損害保険と代理店事務を学びつつ、先輩の寿退社までフリー契約(車所有10台以上)の業務引継ぎを必死で覚えました。

インターネットの登場は、私の社歴と同じく30年前。当時の業務は紙媒体と手作業で、各種目の保険料率本と電卓を用いた計算、複写式の手書き帳票で面談お手続きが通常でした。

先駆けて社長がお客様のデータベース構築をオフコンで試行し始め、勉強熱心な社長の影響でEXCEL/WORDのPC教室に仕事後通学しました。

学生時代は運転免許を自費で取得し難く、一念発起して仕事後の夜間教習所に通いオートマ限定免許を取得できたことは思い出深いです。

おかげ様で事務10年間を経て大先輩担当お客様先へ同行しつつ、20年間かけて営業の場で沢山の学びの機会と感動を頂いています。

成長ややりがいを感じる時

Growth

生命保険や損害保険の保険商品を単に学ぶだけではなく、お客様が弊社にご相談を寄せられた際に、情報提供と安心の備えのお役に立てた時はとても嬉しく思います。「ありがとう!」「助かりました!」「安心しました」の声が人から人へ喜びと感謝でつながるのは、私も嬉しくなり、ありがたいご縁の連鎖だと感じています。

モチベーションの保ち方

Motivation

「喜んでお役に立てる」ことが嬉しい丁稚奉公体質なのだと思います。祖母ゆずりの健胃で良く食べて・笑い・寝る三拍子も秘訣です。

お客様と接する時に心がけていること

Mind

タブレット上での手続きやペーパーレス化、コロナ禍以降オンライン面談が浸透してきたり、最近では生成AI発達等世の中の多様化と技術革新はめまぐるしいスピードで進んでいます。ご相談を引き受けた際は思い込みを捨ててお客様それぞれの背景を想像し柔軟な気持ちで傾聴する事が心がけています。

今後の目標とみなさまへ

Finally

「相手を思う力」を磨き続け人生を豊かにしていきたいです。そして共感し、良いお役立ちのために直ぐに行動ができる「優言実行」の人を目指したいです。

長年ご愛顧頂きありがとうございます。「健康は宝」を心に刻みつつ、これからも元気で日々を励みます。

末永くよろしく願いいたします。

小吉 美幸

学び続ける FP川上の 挑戦日記

ファイナンシャルプランナーの資格を持つ川上栄建が、DCプランナー2級の試験に挑戦。合格までの道のりと資格取得への想いをまとめました。

転んでもただでは起きない! 不合格の壁を乗り越えた男の話



■ そもそも"DC(確定拠出年金)"とは?

DC(確定拠出年金)は「毎月会社が出してくれる決まった金額(拠出額)を社員自身が運用し、その成績によって将来受け取る年金額が変わる」という制度です。会社任せにするのではなく、社員一人ひとりが自分の将来のために資産を育てる知識が必要になる制度とも言えます。

■ 意外な強敵との戦い

試験はパソコンを使うCBT方式で行われたのですが、実は最大の敵は「パソコン内蔵の電卓」でした。普段使い慣れている電卓が持ち込めず、画面上の電卓機能を使わなければならないのです。これが非常に使いづらく…(苦笑)。1度目の結果は68点。惜しくもあと2点足りず…その悔しさをバネに2度目の挑戦をし、結果は84点!晴れて合格となりました。苦手な環境でも結果を出せたことは良い経験になりました。

■ 今後に向けて

近い将来、弊社お取引の企業様へご案内できるよう現在準備中です。これから先のライフプランやセカンドライフを経済的・精神的に豊かに送る為の生活設計にも関わってくる事です。お客様の人生設計をトータルに考え、安心のパートナーになれるよう小さな事からコツコツと取り組み一歩ずつ前に進んでいきます。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。



平和ハーフマラソンに出場しました！

2024年11月の「長崎ベイサイドマラソン」。私の妻である大木円香がハーフマラソンに挑戦しました。私も一緒に出場しようと誘われていたのですが、同月末に難関資格「マンション管理士」の試験を控えていたため、申し訳なさを感じつつも応援に回ることにしました。結果、妻は惜しくも最終関門で足切りになってしまい完走ならず。そしてついでに、私も試験にあえなく不合格でした。

明けて2025年。大会は「長崎平和ハーフマラソン」と名前を変えての開催となりました。妻は昨年のリベンジを果たすべく早々と出場を表明。昨年と同じく私にも「一緒に出よう」と誘いがありました。今年も「マンション管理士」の試験が控えていたので正直迷いましたが、前年の負い目もあります。「あくまで妻の応援団として、冷やかし程度に」というつもりで、エントリーすることに同意しました。

ところが、私がネットで参加申込みをした1週間後に事件が起きました。なんと、メインの出場者であるはずの妻が申込みをしようとした時には、既に定員オーバーで締め切られていたのです。「これはきっと、前年断ったことに対する嫌がらせに違いない…」「もしや、新しい形の家庭内暴力なのでは…」そんな被害妄想も頭をよぎりましたが、嘆いても仕方ありません。諦めて一人寂しく出場することを決めました。



出場するからには完走したいので、頑張って練習に励みました。初めて本番のコースを走った時にはペース配分が分からず、最後まで走り切ることはできませんでしたが、練習を重ねるごとに少しずつコツをつかめるようになりました。

そして本番！本当にギリギリではありましたが、全ての関門を超えて何とか完走することができました。何か騙されたような形で始まったハーフマラソン挑戦でしたが、なかなかの達成感を味わうことができ、今となっては挑戦して良かったなと思っています。妻からは「走れていいなあ」「羨ましいなあ」と散々言われ、別の大会にも一緒にエントリーしようと誘われました。私個人としては特に走るのが好きなわけでも、もっと速く走りたいという気持ちがあるわけでもありません。何より今は「いやいや、二度と騙されてなるものか！」という思いが強いので、慎重に検討したいと思っています。……が、何だかんだでおそらく走ることになると思います。果たしてその時にはどんな事件が起きるのか？是非またご報告させていただきたいと思っています。

ビッグ・ワンではYouTubeでの情報発信に力を入れています。「安全運転」に関する情報や、「介護」や「相続」等の保険に関わる情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください！



長崎平和マラソンの動画をInstagramに投稿しています。大会の雰囲気ぜひ感じてください！ビッグ・ワンの日常が伝わるInstagram。フォローしていただけると喜びます。



QRコードからビッグ・ワンチャンネル・Instagramにアクセスできるよ♪



CYBER



あなたの会社は

サイバーリスク 対策は大丈夫？



セキュリティを万全にしているから大丈夫？



はたしてそうでしょうか。

テレワークの普及を含め企業のデジタル化は急激に進んでいます。同時にサイバー攻撃の手口も多様化・巧妙化し、既存のセキュリティシステムの脆弱性をつく攻撃が日々生み出されており、もはや確実な安全を確保することが難しくなってきました。そのような状況下ではリスクをゼロにはできません。この『ゼロにはできないリスク』の転移対策に保険は有効な手段です。

初動編

もし攻撃を受けてしまったら…



- ✓ 速やかにPCをネットワークから切り離し、システム管理者・セキュリティ担当者へ連絡しましょう。
※Wi-Fiの接続を切る。有線の場合はLANケーブルを外す。
- ✓ その際、PCの電源は決して落とさない！！
※電源を切るとメモリ上の重要な情報（攻撃の痕跡など）が消えてしまうためです。
しかしその後は『**対応**』・『**事態収拾**』・『**再発防止計画**』を一体どうしたら…？
そんなとき、**サイバーリスク保険**がお客様をサポートいたします！

お問合せ



サイバーリスクに関する保険のお問い合わせ・ご依頼は

☎ 0120-25-1369

YouTubeでもサイバー攻撃のリスクをお伝えしています。

有限会社ビッグ・ワン公式



●○● お客様へ お願い ●○●

★ご契約後にこんなことがあった場合には...



お知らせくださ～い

★ 事前のご連絡 をお願いします。

- ご契約のお車を変更する場合（買い替え、譲渡、廃車など）
- ご契約のお車の『車検切れ』『一時抹消』の場合
- ご契約のお車の『使用目的』や『主に運転する人』を変更する場合
- 運転される方の範囲・年齢条件を変更する場合



★ 遅滞なく ご連絡下さい。

- 建物などを売却・譲渡などにより名義変更するとき
(保険契約上の権利・義務を併せて譲渡する場合は、事前のご連絡が必要です。)
- 建物の構造・用法または用途を変更するとき
- 家財などを引越しなどにより他の場所に移転するとき
- 建物の買い替えまたは建て替えをするとき
- 建物の増築・改築・一部取り壊しなどにより、保険の目的の価値が増加または減少したとき
- 他の保険契約または共済契約を締結するとき
- 事故が起こった場合（全く責任のない“もらい事故”の場合を含みます）
- 火災などの事故が発生したとき



★ その他 ...

- ご契約者様の住所・氏名などを変更される場合（含む法人様）
- 契約内容を良く覚えていない、もう1度説明してほしい など
- 保険金お支払対象の確認、保険請求のご相談 など（ご請求もれの防止）

まずは、お気軽にお電話にてお申し付けください。

ご通知や追加保険料のお支払いがないまま万一事故が起こった場合、
保険金をお支払いできない場合やご契約を解除させていただく場合 があります。



←ホームページ、LINE、
YouTube、インスタグラム、
TikTok、全てのリンクが
詰まっています！
読み取ってみてね♪



《編集・発行》

有限会社 ビッグ・ワン

〒850-0918 長崎市大浦町 3-11-2F

TEL 095-823-1369 FAX 095-825-1808

【フリーダイヤル】→ 0120-25-1369

【Mail】mail@bigone-gp.jp